

入選

修学旅行のハプニング

宮崎県 三股小学校

6年 小野いろは

とても楽しみにしていた6年生の修学旅行。その修学旅行でわたしは、友達に親切にしてもらって、心に残っているできごとが2つあります。

1つ目は、かごしま水族館に行ったときのことで、わたしは、友達といっしょに生物を見て回っていました。そろそろ集合時間になるというとき、わたしは、カメラをなくしていることに気づきました。そして集合時間になってしまい、わたしの心はパニック状態で、もうカメラは見つからないと思っていました。

すると友達が、

「今まで行ったところをもう一度見に行ってみよう。名前が書いてあったから、カメラは見つかるはずだよ。」と、わたしをはげましてくれました。

そして友達は、そのことを先生にも伝えてくれて、いっしょに探してくれました。わたしの心は、ちょっと安心しました。すると、

「小野いろはさん、カメラの落とし物です。受付までおこしてください。」

と館内放送が流れ、本当にほっとしました。いっしょに探したり、はげましたりしてくれた友達や先生に、感謝しかありませんでした。

2つ目は、平川動物園に行ったときのことで、実は、わたしは、動物が苦手なのです。特に、鳥がダメなのです。平川動物園には、たくさんのこれまで見たことない動物がいました。わたしたちは、コアラを見終わった後、オウムやインコなどの鳥がたくさんいるところを通ることになりました。ペアの友達は、鳥が平気なので、どんどん進んでいくのですが、わたしは鳥がこわくて、とちゅうで足が止まりました。

そして、友達とちょっとずつはなれてしまい、わたしは来た道をもどろうかとも思いました。すると、わたしがついてきていないことに気づいた友達が、ふり返って、「どうしたの？こわいの？」と言ったので、わたしはうなずきました。

友達は、わたしの手をぎゅっとにぎりしめて、こう言いました。「これならこわくないでしょ？」わたしもぎゅっと手をにぎりかえして、その友達の手をはなさないようにしました。そして無事、鳥のエリアを通過することができました。「ほらね、こわくなかったでしょ？」という友達の言葉に、わたしは、強く大ききうなずきました。このときの友達の手のパワーは、わたしに安心感をくれました。

わたしには、このような親切ですてきな友達がいる、本当に幸せです。これだけ親切にもらったので、わたしも、友達をはげまして安心させたり、勇気づけられたりできるようになりたいです。